

主なDX推進目標（プロジェクト）の進捗状況について

No.	部局名	目標	評価	令和3年度 成果指標	取組内容	今後の課題等
1	総務部・ 企画振興部	予算編成システムと財務会計システムとの連携強化	B	業務状況の把握や実現可能性の検討状況	・庁内関係部署やシステム事業者と打合せを行い、現在の業務状況の把握や、連携等の実現手法を検討し、有効性や留意点を整理した。 【DL】	・電子決裁化や決算統計のシステム化等について、その具体案を検討
2	観光文化 スポーツ部	観光デジタル情報プラットフォームの構築による観光DXの推進	B	・観光統計と宿泊旅行統計のデジタル化の検討 ・観光デジタル情報プラットフォーム・モデル事業の検討	・DX推進アドバイザー（観光）の助言を受けながら、実証事業（令和4年度予定）のモデル地域における宿泊者数や入場者数などの各種データを分析し、今後追加すべきデータの検討等を行った。 ・モデル地域の関係者を対象に「観光地エリアマーケティングのためのデータ活用勉強会」を開催した。 【DT DL】	・宿泊施設や観光施設から効率的にデータを収集する方法を検討
3	健康福祉部	県民が健康で安心して暮らすことができる地域の実現に向けた、医療情報の活用や地域課題の解決に資する医療のデジタル化の推進	B	・医療や学術関係者等からなる協議会での検討状況 ・オンライン診療の活用モデルの構築状況	・秋田県医療デジタル化推進協議会を開催した。（第1回、令和4年3月9日） ＜協議会での主な意見＞ ・ICTに不慣れな人でも利用しやすい仕組づくり ・個人情報のコントロールやアクセスのあり方 ・5G環境の整備促進等 ・県医師会がオンライン診療の活用モデル構築に向けて実証事業を実施した。（医療提供施設での実証事業令和3年度見込み：2か所） 【DT】	・秋田県医療デジタル化推進協議会の次のテーマは遠隔医療 ・県医師会が取り組むオンライン診療の実証事業を支援（医療提供施設での実証事業を継続、令和4年度計画：40か所程度）
4	農林水産部	DXを牽引する公設試験研究機関のデジタル化の推進	B	次世代型農業の試験研究に向けた環境整備及び課題の整理	・各公設試において次世代農業技術研究の基盤となる高速通信回線を整備した。 ・公設試の主な研究課題（抜粋）を次のとおり整理した。 [農業試験場] AI技術を活用した野菜の病害防除技術の確立 [果樹試験場] スマートグラスを用いた技術習得・補助システムの開発・実証 【DT DL】	・関係機関と連携した研究体制の整備と効率的な研究開発 ・研究活動を通じて、公設試の研究員が情報処理技術などの知見を高め、次世代農業技術の研究開発と普及推進
5	教育庁	ICTを活用した学校教育の充実	B	・ICT活用推進モデル校の指定（11校） ・ICT活用に関する教員研修等の実施（40回程度）	・ICTを活用した学習活動の充実を図るため、小中高においてICT活用推進モデル校を11校指定した。 ・効果的な学習指導方法の開発や映像を活用した教員研修等を41回実施した。 ・タブレット端末を活用した実践的な授業に関する調査研究を行った。 【DT】	・教員のスキルアップ

評価について A：目標を上回る B：目標どおり C：目標をやや下回る D：目標をかなり下回る（各部局による評価）

取組内容の記号について DT：デジタイゼーション DL：デジタルライゼーション DX：デジタル・トランスフォーメーション

今後の進め方について

今年度のDX推進目標（プロジェクト）は、県DX推進計画の策定前に設定したものであり、来年度以降は県DX推進計画のもとで検証等を行う。新たな取組等の追加や内容変更の可否については、DX戦略本部会議で検討する。

DX推進目標（プロジェクト）の進捗状況について

No.	部局名	目標	評価	令和3年度 成果指標	取組内容	今後の課題等
1	総務部	財務会計システムの活用による内部統制機能の向上	B	デジタル化を前提とした内部統制事務の制度設計に関する検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 行政改革の取組方針（令和4～7年度）において、本目標と同内容の取組を明記し、内部統制制度における連携に向けた検討スケジュールを策定した。 【DL】 	<ul style="list-style-type: none"> 策定したスケジュールに沿った検討の推進 財務会計システムへの統制機能組込みの実現に向けた調整
2	総務部	法制執務における、法令の改正を要因として条例の改正をする必要がある場合の、事前検討業務の一部のデジタル化を行うことによる、事務の簡素化及び効率化	B	国や他県、事業者に対するAI等のシステムの活用状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県ほか4県への照会（対象は、法規審査関係システム導入についての他県による全国照会で導入検討中と回答した県）、事業者との7回の意見交換等を実施した。国や他県、事業者等について、法制執務におけるAI等を搭載したシステムの活用の現状把握に努めた。 【DL】 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換をした事業者等については、事前検討業務に対応するAI等を搭載したシステムは、現時点で開発されていない状況 県庁内の意見交換の継続と、他の事業者との意見交換の実施
3	総務部	人事管理システムの活用による異動作業等の効率化	B	人事管理システムの機能検証状況とシステム活用に馴染む作業の洗い出しの状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度定期人事異動作業におけるシステム運用の評価を実施し、効率化を図ることができる作業工程の検証を進めている。 【DL】 	（特になし）
4	総務部・企画振興部	予算編成システムと財務会計システムとの連携強化	B	業務状況の把握や実現可能性の検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 庁内関係部署やシステム事業者と打合せを行い、現在の業務状況の把握や、連携等の実現手法を検討し、有効性や留意点を整理した。 【DL】 	<ul style="list-style-type: none"> 電子決裁化や決算統計のシステム化等について、その具体案を検討
5	総務部	県税システムのクラウド化	B	県税システムクラウド化及び現行システム機器のリース延長の検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 各種の課題について検討を行った上で、令和7年1月稼働を目指し、令和4年度から6年度の継続費設定の上、事業予算計上を行った。 【DL】 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドサービス導入に向けた事業の進捗管理と、システムに合わせた業務のBPRや関係規則等の見直し
6	総務部・出納局	文書管理システムと財務会計システムの連携等	B	新文書管理システムにおける運用上の問題点に関する洗い出しの状況	<ul style="list-style-type: none"> 財務会計システムで財務書類作成後、新文書管理システムで電子決裁等を行うに当たって、各所属と出納審査それぞれの立場の課題を整理した。 【DL】 	<ul style="list-style-type: none"> 洗い出した問題点の解決方法について、システムの改修及び会計事務の運用方法の両面から検討
7	総務部	総合防災情報システムの更新（デジタル化）整備	B	他県の整備状況調査の状況	<ul style="list-style-type: none"> 全国に調査を行い、取りまとめを行った。また、調査回答の内容について、いくつかの県にヒアリングを行った。 【DL】 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に予定されている整備基本構想の作成に向けた内容の精査
8	企画振興部	様々なデータを活用した施策立案の推進	A	オープンデータの新規登録件数（25件）とREASAS研修の受講者数（20人）	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータの新規登録件数 25件 REASAS研修会をオンラインを活用して開催し、若手職員を中心に26人が参加した。 【DL】 	<ul style="list-style-type: none"> 検索性などオープンデータを利用しやすい環境整備（公開用ウェブサイト構築） REASAS等の活用をベースとして、EBPMに対する理解の更なる促進

No.	部局名	目標	評価	令和3年度 成果指標	取組内容	今後の課題等
9	企画振興部	高齢者のデジタルデバイド対策の推進	C	操作体験会の受講者数（1,500人）、デジタル活用サポーターの育成者数（90人）	<ul style="list-style-type: none"> 操作体験会の受講者数 543人 デジタル活用サポーターの育成者数 30人 【DT】	<ul style="list-style-type: none"> 受講者が参加しやすく、雪や新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい時期での開催 市町村広報等による周知の拡大
10	総務部・企画振興部	総務課とデジタル政策推進課の連携による、住民サービスの利便性向上のための電子申請の推進	A	電子申請・届出サービス及びマイナポータル（ぴったりサービス）を利用した手続き数（30件）	<ul style="list-style-type: none"> 電子申請・届出サービスを利用した新規手続き数 50件 【DL】	<ul style="list-style-type: none"> 電子納付サービスの導入など、電子申請に係る課題の解決
11	あきた未来創造部	AI等の活用による移住サポートの充実	B	問い合わせ内容のデータ化の状況と、AIチャットボットの導入に向けた検証	<ul style="list-style-type: none"> 問い合わせ内容等を基にQAデータ(44件)を整備し、AIチャットボットを構築。 2月から移住ポータルサイト上で試験運用を実施しており、今後、利用状況を検証しQAデータをアップデートしていく。 【DL】	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の本格運用(LINE連携)に向けたAIチャットボットの習熟度向上と、移住関心層の利活用促進
12	観光文化スポーツ部	観光デジタル情報プラットフォームの構築による観光DXの推進	B	<ul style="list-style-type: none"> 観光統計と宿泊旅行統計のデジタル化の検討 観光デジタル情報プラットフォーム・モデル事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> DX推進アドバイザー（観光）の助言を受けながら、実証事業（令和4年度予定）のモデル地域における宿泊者数や入場者数などの各種データを分析し、今後追加すべきデータの検討等を行った。 モデル地域の関係者を対象に「観光地エリアマーケティングのためのデータ活用勉強会」を開催した。 【DT DL】	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設や観光施設から効率的にデータを収集する方法を検討
13	観光文化スポーツ部	路線バス・乗合タクシーの課題解決に向けた、事業者・市町村等と一体となった取組の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業者等が主体となるオープンデータ化推進体制の整備 市町村等によるデジタル技術を活用した意欲的な取組の創出 	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータ作成講座の開催を通じて、県内全路線の運行情報がオープンデータ化される見込み。 県内2団体の利便性向上に向けた取組を支援した。 【DT DL】	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤ改正に伴うデータ更新に対応できる体制の維持のほか、バスロケなど、より高度なサービス導入に向けた取組の創出
14	健康福祉部	県民が健康で安心して暮らすことができる地域の実現に向けた、医療情報の活用や地域課題の解決に資する医療のデジタル化の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> 医療や学術関係者等からなる協議会での検討状況 オンライン診療の活用モデルの構築状況 	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県医療デジタル化推進協議会を開催した。（第1回、令和4年3月9日） ＜協議会での主な意見＞ <ul style="list-style-type: none"> ICTに不慣れな人でも利用しやすい仕組みづくり 個人情報のコントロールやアクセスのあり方 5G環境の整備促進等 県医師会がオンライン診療の活用モデル構築に向けて実証事業を実施した。（医療提供施設での実証事業令和3年度見込み：2か所） 【DT】	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県医療デジタル化推進協議会の次のテーマは遠隔医療 県医師会が取り組むオンライン診療の実証事業を支援（医療提供施設での実証事業を継続、令和4年度計画：40か所程度）

No.	部局名	目標	評価	令和3年度 成果指標	取組内容	今後の課題等
15	生活環境部	デジタル技術を活用した動物愛護及び管理の推進	B	譲渡犬猫の映像化、適正飼養に関する情報のデジタル化、譲渡前研修のeラーニング化の検討	<ul style="list-style-type: none"> 課題の検討を行い、令和4年度の予算措置を行った。 <p style="text-align: right;">【DT】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々な年齢層に伝わりやすい映像や情報発信方法の検討
16	農林水産部	D Xを牽引する公設試験研究機関のデジタル化の推進	B	次世代型農業の試験研究に向けた環境整備及び課題の整理	<ul style="list-style-type: none"> 各公設試において次世代農業技術研究の基盤となる高速通信回線を整備した。 公設試の主な研究課題（抜粋）を次のとおり整理した。 <p>【農業試験場】 AI技術を活用した野菜の病害防除技術の確立</p> <p>【果樹試験場】 スマートグラスを用いた技術習得・補助システムの開発・実証</p> <p style="text-align: right;">【DT DL】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した研究体制の整備と効率的な研究開発 研究活動を通じて、公設試の研究員が情報処理技術などの知見を高め、次世代農業技術の研究開発と普及推進
17	産業労働部	企業の競争力強化に向けたD Xの推進	B	県内外のデジタル化・D X推進の先行事例の情報発信の状況	<ul style="list-style-type: none"> 先進技術や県内外の優良事例について、セミナーの開催（3回）により情報提供したほか、D X推進ポータルサイトに県内企業の先行事例（20件）を掲載し、横展開を図った。 <p style="text-align: right;">【DT DL】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 更なるデジタル化及びD Xの推進に向けた横展開を図るための新たな事例の創出
18	産業労働部	県制度融資の機関間デジタル化の推進	C	管理システムの構築状況とモデル市町村の選定状況	<ul style="list-style-type: none"> 利子補給金を計算するシステムについては、今年度中に完成予定。（実際に業務に利用するのは令和4年7月以降） 同システムの利用を前提としたリアルタイム方式の無利子・無保証料融資については、令和4年1月1日～同3月31日までの間実施中。 令和3年9月に市町村にS F（セーフティネット）認定事務に関する調査を実施したところ、ほとんどの市町村が現在の認定事務に問題はなく、電子化の必要性も感じていないという結果であった。 令和3年12月に金融機関向けに無利子・無保証料融資に関する会議をオンラインで開催したが、S Fの取得に関しては現状特に問題があるという意見はなかった。 <p style="text-align: right;">【DT DL】</p>	<ul style="list-style-type: none"> S F認定事務のデジタル化の必要性について市町村、金融機関との意見交換 中小企業振興資金I C T導入支援枠について、働き方改革支援枠と統合し、S D G s推進枠として活用
19	建設部	建設業関係手続（許可・経営事項審査・入札契約手続）全般における電子化	B	建設業許可、経営事項審査のシステムの改修や手数料納付方法等に関する検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 建設業許可、経営事項審査のシステム改修について検討した。 手数料電子決済のための財務規則一部改正案を検討した。 <p style="text-align: right;">【DT】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県側システムの改修作業期間と電子申請システム導入までの習熟・移行期間の確保
20	建設部	建設事業各段階におけるD Xの推進	B	3次元設計の試行（2件以上）、I C T活用モデル工事（34件以上）の推進	<ul style="list-style-type: none"> 3次元設計を2件実施中 モデル工事を34件実施中 <p style="text-align: right;">【DL】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業のI C T環境整備（令和4年度から建設D X加速化事業によるサポートを実施）

No.	部局名	目標	評価	令和3年度 成果指標	取組内容	今後の課題等
21	出納局	キャッシュレス納付の推進	B	キャッシュレス納付導入に当たっての課題の整理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料及び手数料の収納状況調査を実施した。 ・電子申請から電子納付までの事務の流れを検討した。 <p style="text-align: right;">【DT】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子決済端末設置場所の検討 ・手数料等の入金データ消込作業方法等の検討及びRPA導入による作業の省力化
22	教育庁	ICTを活用した学校教育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用推進モデル校の指定(11校) ・ICT活用に関する教員研修等の実施(40回程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した学習活動の充実を図るため、小中高においてICT活用推進モデル校を11校指定した。 ・効果的な学習指導方法の開発や映像を活用した教員研修等を41回実施した。 ・タブレット端末を活用した実践的な授業に関する調査研究を行った。 <p style="text-align: right;">【DT】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のスキルアップ
23	警察本部	運転免許証のデジタル化	B	運転管理者システムの全国共通システムへの移行に関する対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・警察本部内(プロジェクトチーム)における移行スケジュールの確認、作業工程に関する調整 ・共通基盤システムにおける業務フロー、出力資料の確認 ・導入機器に関する機能確認、調達時期の調整 ・先行県からの情報収集 <p style="text-align: right;">【DT】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共通基盤システムへの移行、他都道府県警察との連携 ・運転免許証とマイナンバーカードの一体化に向けた調整

判定について
取組内容の記号について

A：目標を上回る B：目標どおり C：目標をやや下回る D：目標をかなり下回る (各部局による評価)
DT：デジタルイゼーション DL：デジタルライゼーション DX：デジタル・トランスフォーメーション